

# いきいきチャレンジ!

平成20年夏号 第42号

発行●独立行政法人福祉医療機構  
〒105-8486  
東京都港区虎ノ門 4-3-13  
神谷町セントラルプレイス9F  
TEL 03-3438-4756  
FAX 03-3438-0218

URL: <http://www.wam.go.jp/wam/>  
e-mail: [ikiiki@wam.go.jp](mailto:ikiiki@wam.go.jp)  
編集協力●(株)法研

「長寿・子育て・障害者基金」では、ホームページで過去4年間(平成15年度から平成18年度)に助成した事業の概要等を紹介しています。

○WAM基金 e-ライブラリー(電子図書館)のアドレス  
<http://www.wam.go.jp/Densi/kikin/eJoseiLib/>

「いきいきチャレンジ!」は、バックナンバー及び本号をホームページ上で閲覧することが可能です。

○「いきいきチャレンジ!」バックナンバー等のアドレス  
[http://www.wam.go.jp/wam/publish/main\\_07.html](http://www.wam.go.jp/wam/publish/main_07.html)

「いきいきチャレンジ!」では、読者アンケートを行っています。同封したアンケート用紙または下記アドレスより用紙をダウンロードし、FAXしてください。メールでも受け付けています。抽選で10名様に図書カードをプレゼントいたします。ぜひご回答ください。(平成20年7月31日必着締め切り)

○「いきいきチャレンジ!」読者アンケート専用紙アドレス  
[http://www.wam.go.jp/wam/publish/main\\_07.html](http://www.wam.go.jp/wam/publish/main_07.html)  
○FAX番号 03-3438-0218  
○e-mail [ikiiki@wam.go.jp](mailto:ikiiki@wam.go.jp)

## 表紙イラスト紹介

タイトル 「しょうぶ園」  
作者 廣田新一さん

### ●作者略歴

1947年、群馬県前橋市生まれ。  
48歳のとき、脊髄内腫瘍により下半身麻痺の状態になり、群馬県立身体障害者リハビリテーションセンターに入所。そこで「きり絵制作」と出会う。  
2003年、第15回アートビリティ大賞・アサヒビール奨励賞受賞。

### ●作者コメント

赤堀花しょうぶ園がオープンのに(健康者のときに)夫婦二人で満開の花しょうぶを見た思い出に残る所です。

今では、入所している群馬県立リハビリセンターから5、6分て花しょうぶ園に行くことができ、車椅子での散歩コースのひとつにしています。

健康者のころの思い出と今をかさねた作品です。

「しょうぶ園」は障害者が描くイラストを提供する「アートビリティ」の登録作品です。「アートビリティ」のホームページは、<http://www.artbility.com>です。

私たちは、遊びながら学ぶことをモットーに、  
①自然体験型環境教育プログラムの企画運営、②社会体験型教育プログラムの企画運営、③子育て支援プログラムの企画運営を行っています。  
昨年度は「地方分モデル事業」の助成をいただき、南渡島地区子育て情報配信事業を行いました。  
7月には当法人主催で「トゲウオ探検隊」、「クワガタ探検隊」などの自然体験プログラムを実施する予定です。その他、幼稚園・保育園・学校や個人のグループ等にも、子どもから大人まで楽しめるアウトドア・インドアの様々な体験学習プログラムを提供しております。  
今後も、自分で体験する面白さや失敗を乗り越えて成功する感動を、多くの子どもたちに伝えていきたいと思っております。

特定非営利活動法人NATURAS(北海道)  
赤石 哲明

当法人は、腎臓病に関する正しい知識の普及・社会啓発を行うとともに、腎臓病患者の自立と社会参加の促進を図ることによって社会の保健・福祉の向上に寄与することを目的として活動しています。  
患者同士が手をつなぎ、教えあい、助け合い、命を守るため、「病気を知る」、「病気に負けない気力を養う」、「安心して療養できる社会をつくる」の3つの役割を果たすべく、病院の支部単位に、あるいは地域ごとに勉強会や交流会を開いて会員相互のコミュニケーションをはかっております。  
年に1回は「腎不全対策を語るつどい」という、腎臓病や糖尿病などをテーマにしたわかりやすい講演会を開催し、地域住民の意識向上をめざすほか、最新医療等の情報発信を行っています。

特定非営利活動法人山口県腎友会(山口県)  
吉村 隆

劇団ブーメランは、平成9年度の文化祭での劇発表をきっかけとして、桐生市立昭和中学校特殊学級在籍生徒を中心に、卒業生や仲間が集って平成10年度に結成した劇団サークルです。  
団員のひたむきな演技と保護者を中心にしたスタッフ自作の衣装や大道具等、手作りの公演・舞台が、私たちのセールスポイントです。ハンディを持つ子どもたちの自己実現、保護者の方のつながりの場、地域社会への啓発など、この劇団活動のもつ意味は大きいと考え、地道な活動を続けております。  
昨年度に「高齢者・障害者福祉基金」(地方分)の助成をいただいて実施した、社会参加と生きがいをめざす障害者演劇公演事業の成功を経て、7月と8月に特別支援教育研究協議会等から公演依頼をいただきました。

劇団ブーメラン(群馬県)  
押見 清美